

Case Study

支部ケース・スタディ

四国支部

KCB開局30周年記念事業を通じた地域への感謝

高知ケーブルテレビ(株)

30周年記念事業 実行委員長

国広 御



地域のみなさまに支えられて30年

高知ケーブルテレビ(株)(略称KCB)は1987年(昭和62年)12月1日に開局を迎え、2017年(平成29年)12月1日に30周年を迎えることができました。これもひとえに協力企業さまや関係各所の方々のご支援、そしてなにより地域のみなさまのご愛顧の賜物であると、心より感謝いたしております。

弊社KCBは、四国初の都市型CATVとして開局以来、県高校野球選手権大会の生中継なども実施している「自主放送チャンネル」を中心に、「県内外波の同時再放送」「BS・CS」などの多彩なテレビサービスの提供はもちろんのこと、近年においては、四国電力グループのSTNetとの協業による光インターネットの提供をしてみられました。おかげさまで、弊社サービス提供エリアにおけるKCBの認知度も、この30年でかなり浸透したのではないかと思います。

そうした中、開局30周年を迎えるにあたり、ぜひ地域のみなさまにささやかながら恩返しをしたい、感謝をお伝えしたい、との思いに至り、30周年記念事業を計画し、実行委員を中心に幾つかの催しを進めることにいたしました。



加入者への感謝と御礼～参加型イベントでのふれあい～

太平洋を臨む高知県のケーブルテレビでは、自主放送チャンネルでも特にニーズの高いのが「釣り」番組です。そこで、30周年記念事業のひとつとして、「KCB親子フィッシング大会」を企画しました。

当初の予定日が台風で延期となったことで、無事に開催ができるのが不安でしたが、12組27人にご参加いただきました。小さなお子さんが多く、初心者の方が多かったため釣りの「成果」にやきもきもしましたが、地元釣り具店さまのご協力により、結果としては大漁で、また安全面の問題もなく無事に終えることができました。

ご協力の釣り具店さまは、普段から自主放送チャンネル内の釣り番組でご支援いただいているので、お互いに信頼して大会を進行できたのではないかと感じています。また、参加者のみなさんが釣り大会を楽しんでいるのを、直接、目にすることができ、普段の営業活動やメンテナンス、取材活動などとは違うかたちでお客さまと触れ合えることが、とても素晴らしいものだと思えました。開催後にもお礼のメールをいただいたり、このようなイベントをまた開催して欲しいという声を頂戴したことに、大変喜びを感じました。



30周年記念事業のひとつとして開催した「KCB親子フィッシング大会」

地域への感謝～どなたでも入場OKのお祭り～

30周年記念事業の目玉イベントとして開催したのが、「開局30周年記念大感謝祭」でした。加入者かどうかは関係なく、地域のみなさまへの感謝の意味をこめた、入場無料のステージイベントです。KCBサービス提供エリアにおいては区域外再放送となる県外波のチャンネルで放送中の特撮ヒーローのステージショーや、自主放送チャンネルの看板番組「Kochi on TV!」公開収録などを行いました。普段は自社スタジオでの収録ばかりの「Kochi on TV!」を、当イベント内で公開収録できたことは、みなさまにKCBをもっと身近に感じてもらえる良い機会になったかと思えます。特に子どもたちの、歓声や応援の音がホール内に響き渡り、主催者側とお客さまとの一体感に満ちた、素敵な空間となりました。

またホール外でも、サプライヤーさまにブース出展のご賛同をいただき、無料のミニゲームなどでご来場者さまをお迎えくださりました。ご協力のサプライヤーさまには、あらためてお礼申し上げます。

弊社にとって、ホールを借りての単独イベントは初めての企画だったので、特に集客面で非常に心配でしたが、ありがたいことに大変な盛況となり、約2,350人のご来場者さまで賑わいました。弊社KCBの存在を、地域のみなさまに広く知っていただいていることの、ひとつの証しではないか、そんな感慨に浸りたくなる一日でした。特に、親子連れのご来場者の笑顔が多く見られたのは、とても励みになりました。



約2,350人の来場者で大盛況となった「開局30周年記念大感謝祭」

地域への貢献～地元へ寄り添う企業として～

地域貢献の企画では、学校の図書室に入れる本を子どもの視点で選んでもらう「選書会」を、地元の絵本店と共同実施しました。小学校の体育館に約1,000冊の本を並べて、実際に子どもたちの手に取って見てもらい、興味を持った本を、地元の協賛企業さまからの寄付によって、寄贈する取り組みです。この「選書会」では、地元の絵本店による本の読み聞かせもおこないますので、本の世界・魅力を身近に感じてもらい、地域の子どもたちが活字に親しむ、そのきっかけ作りになると考えています。

また、やはり地域貢献の一環として、子どもたちに無料や低額で食事を提供する「子ども食堂」の活動を自主放送チャンネルの番組で取り上げ、この開設・運用を支援する「県子ども食堂支援基金」に対する寄付もおこないました。

子どもは地域の宝ですし、国内でも特に高齢化が進む高知においてはなおさら、未来を担う子どもたちを応援したい気持ちで、こうした地域貢献も30周年記念事業に組み入れました。



「子どもは地域の宝」という気持ちから取り組んだ「選書会」

「県子ども食堂支援基金」への寄付(上)と取材活動も行なった(下)

地域の発信～地元の魅力を伝えたい～

高知県の人口は、2017年(平成29年)1月1日時点で71万人台となり、「72万人割れ」は国勢調査ベースで見ると、戦前の1940年(昭和15年)以来となります。この現状を打破するべく、県は移住支援活動に取り組んでいますが、弊社も30周年記念特別番組として「高知県観光PR番組」を制作して、移住促進を応援したいとの思いで企画しました。全篇4K撮影、ドローンも駆使して制作された特番『恋する高知』は、ケーブル4KやAJC-CMSを通じて日本全国に発信したいと考えております。高知の自然美・グルメ・観光名所、そして移住先としての田舎の魅力をたっぷりお届けする当番組を、ぜひ全国のみなさまにご覧いただきたいです。



全篇4K、ドローンも駆使して制作された高知県PR特番『恋する高知』

今までの30年 これからの未来

今回、開局30周年記念事業を実行して特に感じたのは、さまざまな催しを通じて、ご加入者さまや地域の方々の笑顔やお礼の言葉に直接触れる機会をいただき、あらためて高知ケーブルテレビが地域と深く繋がっていること、弊社の30年の歩みは地域のみなさまの応援のおかげだということ、強く実感しました。そして今後も、地域に貢献し、愛される企業であり続けたいと思いました。

開局からの30年の間で、提供するサービスの内容や、技術面、放送コンテンツなど、多くの変化がありましたが、やはり最も大切なのは、地域のみなさまとの信頼関係であり、ひいてはそれが加入者の増加にも繋がって、弊社が今日まで続いてこれたのだと感じました。これからも、「地域に感謝」の思いを忘れず、高知の未来に貢献していきたいと思っています。